

三重県立相可高等学校 生徒心得

1 学校生活について

(1) 登下校について

- ① 始業時（午前8時25分）までには登校する。
- ② 欠席や遅刻をする場合は、午前8時30分までに学校に連絡する。
- ③ 遅刻した場合は、生徒指導部に遅刻届を取りに行き、担任または授業担当者に提出する。
- ④ 登校後、やむを得ず早退や外出が必要な場合は、担任等の許可を得る。
- ⑤ 完全下校時刻（午後7時30分）を厳守する。

(2) 授業及び休み時間について

- ① SHR、授業、集会、放送等の連絡を聞き、その指示に従って行動する。
- ② 各休み時間の間に、次の授業の準備をしておく。
- ③ 教室以外での授業や集会等で移動する場合は、休み時間中に移動する。
- ④ 授業で与えられた課題や宿題にしっかり取り組み、提出期限を厳守する。
- ⑤ 始業時から終業時までの間は、許可なく校外に出ない。
- ⑥ 保健室で休養した場合は、その旨を担当または授業担当者に報告する。

(3) 考査について

- ① 座席は指定された場所に着席する。
- ② 教科書、ノート、プリント等は鞆に入れて、机の中は空にする。
- ③ 特に指示のない場合を除き、机上には筆記用具と消しゴムのみとすること。ティッシュを使用する際は、テスト監督の教員に申し出て、事前に許可を得る。
- ④ 不正行為やまぎらわしい行為はしない。
- ⑤ 体調不良等、やむを得ない理由を除き、途中退室は禁止する。
- ⑥ 考査発表日から考査最終日の前日までは、原則、部活動は禁止する。

(4) 校内生活について

- ① 校内では制服を着用する（部活動時は除く）。
- ② 携帯電話の使用はマナーを守るとともに、授業中は電源を切り使用しない。
- ③ 持ち物の自己管理を徹底し、貴重品は常に身に付けるか、貴重品袋を利用する。
- ④ 教室、ロッカー、部室等の整理整頓を心がけ、指定場所以外に私物を置かない。
- ⑤ 本校指定のスリッパ、体育館シューズを履き、上下兼用しない。
- ⑥ 避難経路や避難方法を確認し、緊急の時など迅速・安全に避難できるようにする。
- ⑦ 学校内にポスター等を掲示する際は、生徒指導部に申し出て許可を得る。

(5) 懲戒について

以下の行為は、懲戒（処分としての懲戒、指導としての懲戒）対象となる。

- ① 犯罪行為
暴行・傷害、恐喝・金品強要、万引き・窃盗、占有離脱物横領、不正乗車、強盗、わいせつ行為（盗撮含む）、薬物関連取締法違反等
- ② 不良行為
飲酒・喫煙、喫煙具所持、飲酒喫煙同席、喧嘩・乱暴、いじめ、青少年育成条例違反、深夜徘徊、怠学、無断外泊・家出、不健全娯楽（パチンコ・賭博等）、迷惑行為、凶器所持、たかり等
- ③ 校内規則
対教師暴力、無断アルバイト、器物損壊（故意による）、考査等不正行為、指導妨

- 害・暴言・指導拒否等
- ④ 交通関係
無免許運転、免許無断受験・取得・運転、自動車学校無届入校、単車二人乗り、暴走行為等
- ⑤ その他
選挙違反行為等

2 校外生活について

(1) 生活の基本について

- ① 本校生徒としての自覚と誇りを持ち、健全な生活を送る。
- ② 外出する際は、家族に行き先、用件、帰宅時間等を伝える。
- ③ 夜間の外出（午後10時から午前5時まで）は慎む。
- ④ 休日や長期休業中においても、規則正しい生活習慣を心がける。
- ⑤ 住所変更等、家庭状況に変化があった際は、担任に申し出る。

(2) アルバイトについて

原則禁止とする。ただし、長期休業中のアルバイトは届け出により認める。アルバイトを行う必要がある生徒は、生徒指導部に「アルバイト届」を提出し、次のことを厳守する。

- ① 学校生活に支障をきたさない。
- ② 危険やアルコール類を提供する業務等、高校生が従事するのが不適切であると判断される業務のアルバイトは禁止する。
- ③ 勤務条件（勤務時間・時給・勤務内容等）が、法令に反している業務のアルバイトは禁止する。

なお、家庭における経済的事情等により、平常時のアルバイトを許可する場合がある。ただし、考査発表日から考査最終日の前日までの期間は、アルバイトを禁止する。

3 服装・身だしなみについて

(1) 制服

- ① 登下校時は、学校指定のブレザー、スラックス・スカート（夏用・冬用）、シャツ・ブラウス（長袖・半袖）、ネクタイ・リボン、ベスト、セーターを着用する。
- ② 衣替え期間は設けないが、各自が時期や気候等に応じて学校指定の制服を着用する。
- ③ 制服の変形や改造は行わない。
- ④ やむを得ず異装しなければならないときは、生徒指導部に申し出る。

(2) 靴下、タイツ、ストッキング

華美でないものを着用する。

(3) 通学鞆

指定鞆はないが、教科書・ノート等を持ち運ぶのに適した鞆を使用する。

(4) 通学靴

運動靴又は革靴とし、安全に通学できる靴を使用する。

(5) 防寒着

登下校時に限り、華美でない市販のコート、ジャンパー、ウィンドブレーカー、ジャケット等の着用を認める。

(6) 頭髪

- ① 染色やパーマ等、生まれつきの髪を加工しない。
- ② 奇抜で極端な髪型等、不自然な髪型は禁止する。

- (7) 化粧
禁止する。
- (8) 装飾品（マニキュア、ヘアエクステンション、ピアス、指輪、ネックレス等）
禁止する。

4 通学について

- (1) 交通法規やマナーを遵守する。
- (2) 自転車通学を希望する生徒は、以下のことを厳守する。
 - ① 「自転車通学許可願」を生徒指導部に提出し、生徒指導部が年度初めに実施する自転車点検を受ける。
 - ② ①の実施後、生徒指導部が発行するステッカーを通学で使用する自転車に貼る。
 - ③ 雨天時は雨合羽を着用し、傘さし運転は行わない。
 - ④ 防犯登録を行う。
 - ⑤ 自転車保険に加入する。
 - ⑥ 学校内での駐輪は、指定の場所に行う。
- (3) 登下校時における二輪車の使用は、原則として禁止する。ただし、以下のいずれかに該当し、原動機付自転車（50cc以下）を使って通学を希望する生徒は、学校に申し出て許可を受ける。
 - ① 公共交通機関及び自転車の利用が極めて困難な地域からの通学などで、学校長が特にやむを得ない事情があると認める場合。
 - ② その他学校長が特に必要と認める場合。

5 運転免許取得について

- (1) 普通自動車運転免許について
 - ① 在学中は原則、普通自動車運転免許の取得を禁止する。ただし、進路先が決定している3年生で、自動車学校への入校を希望する生徒は、生徒指導部に「自動車学校入校許可届」を提出し、「自動車学校入校許可書」を受け取る。
 - ② 自動車学校への入校は11月1日以降とし、入校の際は、生徒指導部が発行した「自動車学校入校許可書」を自動車学校に提出する。
 - ③ 自動車学校の教習は、放課後及び土曜日・日曜日・祝日とする。ただし、定期考査発表日から考査終了日の前日までの教習を禁止する。
 - ④ 平日に修了検定の受検を希望する生徒は、「修了検定受検許可申請書」を事前に生徒指導部に提出し、「修了検定受検許可証」を受け取る。なお、運転免許試験の受検は本校の卒業まで認めない。
 - ⑤ 合宿での運転免許取得は禁止する。
- (2) 二輪車運転免許について
 - ① 在学中は原則、二輪車運転免許の取得を禁止する。ただし、「4 通学について(3)」で通学を許可された生徒は、生徒指導部で所定の手続きを行った後、原動機付自転車（50cc以下）運転免許を取得する。
 - ② 就職が決まり、二輪車運転免許（50ccを超えるもの）を取得する必要があるなど、正当な理由があると学校長に認められた場合は、生徒指導部で所定の手続きを行った後、二輪車運転免許を取得する。
 - ③ ①②に該当しない場合は、その都度審議し決定する。